

広報 おおづ

1
JANUARY 2011

新しい大津の夜明けが始まる

今月のみどころ

新年のご挨拶

新しい年に向けた抱負を町長と議会議長が語る

大津高校、全国へー

男子サッカー部と女子バスケットボール部が全国大会に出場

民生委員・児童委員改選

3年ぶりの改選 55人すべての紹介など

クローズアップ大津人

秋岡利明さん

Public relations
OZU TOWN

広報 おおづ 2011 1

発行・編集 ■大津町・企画課
〒869-1292 熊本市菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096 (293) 3111

ホームページアドレス
<http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

2100

印刷 ■ポニー印刷株式会社
※この広報誌は無料で配布して再生紙製の大安/インクを使っています。



「子育てにはその時にしかできないことが多い」と話す利明さん。「今」を大切に子育てを楽しんでいる



継続することの難しさとその素晴らしさ。自分はそれを子どもから教えてもらった。

あきおかとしあき
秋岡利明さん（美咲野）

そこには子どもたちが自然と集まっていた。休日のお昼、美咲野に住む秋岡さんのベランダでは、多くの子どもたちが昼食を楽しんでいる。その温かい光景は、秋岡さんが大切にしている思いから自然に生まれたものだった。

菊池市（旧泗水町）に生まれた秋岡さんは4年前、大津町に居を構えた。

子どもと遊ぶのが趣味だと話す秋岡さん。平日は仕事で家に帰るのも遅いが、休みは家族と過ごす。秋岡さんは娘の菜々子さんの時間を大切に、そして楽しく使っている。

秋岡さんの家の周りでは、近所同士の付き合いも多い。庭で昼ごはんを食べている子どもたちが集まって来てみんなで一緒にごはんを食べる。そんな光景は3年前から自然に始まった。

「特別なことはしていません。じゃないと続けられませんから。食事もおにぎりや玉子焼きくらいしか作れませんがね」と笑う彼は何でも続けることが大切なのということを知っている。

子育ても続けることが大事だ。今しかできないことを積極的にやっていく。それを子どもたちから教えてもらった。今では「クラブおおづ」で活動を行い、昨年開催された子育てシンポジウムでは普通の父親代表としてパネリストで参加するなど活動な父親だ。

「いろんなところで活動を広げているのは、子どものおかげかもしれませんね」。子どもと親がお互いに成長していく。そんな情景が秋岡さん一家にはあった。

▼あけましておめでとうございます。新しい年が始まりました。▼何かが始まることは、とても気持ちの良いもの。新しい出会いや経験が待っています。今年は何が起こるか楽しみです。▼始まりというものは「終わりの始まり」でもあると思っています。何に対しても悔いを残さずにやるのが大切だと思っています。▼広報おおづの担当になって、とても多くの町の人に取材を行い、その人の思いを聞きました。新たに知ったことや共感したこと。そこで得たものは、自分を見つめ直すことができました。自分以外の人を知ること、自分自身を知ることができたのです。▼「自分と違うものを理解して自分ができることをやる」。今年はそれがわたしの目標です。▼今年も皆さんにとって良い年でありませうよ……
(江口)